

平成20年度 NPOと行政の協働会議 第1回全体会

日時：平成20年5月8日（木） 15:30～17:30

場所：ひょうごボランティアプラザ セミナー室

出席者：【NPO 部会】黒田、野崎、山崎、能島、河口、柳田、前川（敬称略）

【行政部会】松田（畑の代理）、横山、足達、藤原

欠席者：坂本、田中、鬼本、三木

事務局：小森、高橋、山下、福島、秋澤、荻田、北村、阪上、佐伯、藤原

1 開会挨拶（小森）

2 出席者の紹介

3 (1)各部会からの進捗報告

《事務局について》

事務局については単年度契約になっている。昨年度はブレンヒューマニティーが担った。今年度事務局を担ってもらえるNPOを募ったところ、特に希望する団体は無かったため、今年度もブレンヒューマニティーが事務局を担当することで、参加者の賛同を得る。なお幹事については、2年任期のため、引き続き留任とする。

《つながり部会》

今年度は、既に4月4日に第1回つながり部会を開催した。この部会は社会福祉協議会とのつながりをもってNPOが地域に受け入れられることを目的にしているので、芦屋市、神戸市、三田市の社会福祉協議会に入ってもらったりしている。また、範囲が広すぎて何をこなげるかに苦慮することもある。

具体的な内容はまた手元の資料に目を通しておいていただきたい。

地域でうまくつながっているNPOもあるが、まだ入り込めていない地域もある。地域、行政、社会福祉協議会とどのようにつながって行くかが課題。この部会がそれらとの接着剤的な役割になればと考えている。また教育委員会とも繋がっていければと思う。

このような目的から今年度の1回目は芦屋市で部会を開催した。次回も5月14日に芦屋市で開催するが、できるだけ広範囲の地域の団体や行政に参加してもらう方向で進めている。「つながり」がどのようにやっていけば本当のものになっていくか検討していく。

次回の芦屋市での部会の参加者への呼び掛けについて進捗状況等を報告。あしや市民活動センターの理事長と事務局、子供会連合会、コミスクの会長の参加は確定、芦屋市社協の会長と副会長はほぼ確定、その他市教委等の参加も予定している。芦屋市では、市民参画条例ができて約1年が経つが、本当にその条例に意味があったのかを検討する場として今回の部会を位置づけている。

NPOはNPO同士のつながりがあり、社会福祉協議会は地域団体とのつながりがある。NPOと社会福祉協議会とのつながりができることで、今後の地域のネットワークづくりが

できる。円卓会議やプラットフォームの実現までもっていかれたらと思っている。小野の出張会議では色々な話を聞いたが、地方ではNPOも社会福祉協議会も一緒にやっている。一方、都市部ではつながっていくための切実性が薄い。今回、芦屋で平場の話し合いの場を設けることが阪神間にも普及していけばと考えている。

《委託事業部会》

一つの提案書を作っていくという方向で一年間やってきたところ、いくつかの課題が見えてきた。NPOと行政の協働には、ボランティアなどの活動への支援補助と業務の委託などが含まれている。これらは隙間的な事業が多く中途半端な感じがあり、NPOの存在を弱めてしまっているのではないかと。明確に区分けが出来ておらず、整理していく必要がある。

本日提出した骨子案のように、NPOだけでなく行政と一緒にやることによって客観的なよりわかりやすいものがまとめられてゆくのではないかと。具体的なケースを入れるなど工夫していきたい。

《NPO評価部会》

この部会については当初、誰が評価するのか、本当に評価が必要かなど、前半は積極的な感じではなかった。しかし部会を重ねていくにつれて、企業のNPOに対する認知度が低い、どのような活動を行っているのか知られていないということがわかってきた。そこで相手はNPOのどういうところを見たいのか、それに対してどのような情報を開示したらよいか相手側の視点で考えたのが「NPO情報開示システム」の構築である。

今年度については、支援者等が求めるNPO情報と評価ポイントについてさらに調査していきたい。情報開示システムの統一フォーマットを作成していくことを目標としている。さらにこの部会に入ってくれるメンバーを増やしたいため、新たに参加募集をする。

《協働事業評価部会》

この部会は他の部会よりも長く行っており、今年で3年目になる。昨年度は、行政とNPOが協働していくうえでの注意していくべき項目のチェックシートの作成を行ってきた。これまでバージョン1を作成し、いくつかのNPOで試行して改良版であるバージョン1.2を作るところまでいったが、この改良版はまだ使っていない。今年度には、チェックシートを完成させたいと考えている。しかし、昨年の後半にはあまり部会を開催できておらず、やや低調気味になっているため、NPO評価部会と共同で行うのも一つの方法かと考えている。

(2)平成19年度の振り返り、今後の運営について

年間スケジュールについて

昨年、全体会議は出前出張を含めて6回行った。今年度も同じ頻度で開催(隔月)していくこととする。

出前出張会議について

提案できる段階ではないが、芦屋(阪神間)で11月頃にできればと考えている。今月にまたつながり部会があるので、出前出張会議のことも検討していきたい。

出前出張会議については、昨年と同様につながり部会での議論に委ねていくことで、賛同

願います。(メンバーからの異議なし)

現在の部会の体制について

つながり部会は従来通りでいく。協働事業評価部会については、CS神戸の要請から発足したいきさつもあるので、当該NPOとよく調整したうえで検討した方がよい。委託事業部会については、財源の問題もあって、委託のルールブックの作成案等部会計画の修正の必要性は感じているので、全体に意見を聞きながら継続していきたい。なお、ルールブックについては愛知などでは行政主導で作られている。今ある骨子案の中で、どこを落としどころにするかについても再検討していきたい。また、委託事業部会に限らず、年2回ほどは、あるテーマについて全員で協議できればと考えている。

幹事については、NPO側は従来通りとし、行政側はつながり部会(三木・藤原・足達)、委託事業部会(横山・畑)、NPO評価部会(横山・鬼本)、協働事業評価部会(畑)とする。また、運営幹事は全体MLに予定を随時配信し、他の幹事も参加可能とする。なお、出席者は幹事か幹事が参加希望を認めたものに限る。

その他

委託部会は5/19に次回開催を予定していたが、部会開催事前調整不足のため中止ということで連絡をする。案内については前川氏が部会MLにて行う。

次回の全体会の日程について

日時：7月15日(火)13時30分から15時30分まで

場所：ひょうごボランティアプラザ セミナー室